

診療報酬調査専門組織・慢性期入院医療の包括評価調査分科会
(平成17年度第4回)

日時 : 平成17年11月11日(金)10:00~12:00
場所 : 厚生労働省共用第7会議室 (5階)

議 事 次 第

1. 開会

2. 議事

- 「慢性期入院医療実態調査」(中間集計結果)について
- 患者分類案について
- その他

3. 閉会

「慢性期入院医療実態調査」

入院患者特性 中間集計結果

I 調査方法

1. 調査対象

1-1. 母集団（病院）

	母集団	
	病院数	病床数
(a)療養病棟入院基本料（老人療養病棟入院基本料）を算定している病棟	3,715 病院	191,979 床
(b)療養型介護療養施設サービス費を算定している病棟	2,475 病院	125,432 床
(c)特殊疾患療養病棟入院料（1、2）を算定している病棟	418 病院	24,868 床

資料：(a)、(c)は、医療課調べ（平成16年7月1日）。

(b)は、「介護サービス施設・事業所調査」（平成15年10月1日）。

1-2. 抽出条件（層化基準による該当施設の抽出）

下記の層化基準を用いて、母集団の10%抽出を行った。

図表 層化基準

	層化基準として採用する理由	備考
病院類型	療養病床に特化しているか否かによる影響を勘案	病床種類の組み合わせにより病院類型を設定。 ・療養病床のみ ・療養病床と他の病床（一般病床等）の組み合わせ
所在地	所在地地域特性による影響を勘案	使用する区分は、介護報酬における「厚生労働大臣が定める1単位の単価」における地域区分とした。 ・特別区及び特甲地 ・甲地 ・乙地 ・その他
病床規模	病院規模による影響を勘案	病院全体の病床規模を用い、200床未満／200床以上の区分を設定

1-3. 抽出結果

抽出を行った施設に対して、協力が得られた施設数は430施設であった。なお、本資料は平成17年10月14日までに調査票の回収と精査が完了した353病院を集計対象とした。

図表 調査協力施設数

病院規模別	一般病床併設	地域別				総計
		特別区・特甲地	甲地	乙地	その他	
200床未満	併設無	11	0	10	80	101
	併設有	31	6	26	165	228
200床以上	併設無	3	2	3	18	26
	併設有	15	3	8	49	75
総計		60	11	47	312	430

図表 本資料の集計対象施設数

病院規模別	一般病床併設	地域別				総計
		特別区・特甲地	甲地	乙地	その他	
200床未満	併設無	10	0	8	65	83
	併設有	20	5	21	143	189
200床以上	併設無	2	1	3	12	18
	併設有	15	2	6	40	63
総計		47	8	38	260	353

2. 調査方法

- ・ 調査基準日（平成17年9月20日から10月7日までの期間で、各施設が定めた特定の1日）に調査対象の入院料を算定している療養病棟の全入院患者に対し、病棟看護師が関連職種と情報交換の上記入。
- ・ 調査票は調査協力受諾書の情報をもとに必要部数を調査事務局より郵送。
- ・ 調査方法は記入要領に明記する他、調査事務局にて電話で補足説明対応。
- ・ 調査終了後は、調査事務局へ郵送にて返送。

3. 調査項目

A. 基本属性		
集計項目	設問番号	今回集計分
1 性別	FS 3	○
2 年齢	FS 4	○
3 在院日数	FS 5,6	○
4 入院する前の居所	I 1	○
5 入院した背景	I 2	○
6 退院（転棟）先の見通し	X III 1	
7 退院（転棟）までの日数	X III 2	
8 家族等への介護の期待	X III 4	
B. 疾患名		
集計項目	設問番号	今回集計分
9 疾患名（うち主傷病名）	VI 1,3	○
10 主傷病発症後経過日数	VI 5	
11 感染症名	V 2	
C. 症状		
集計項目	設問番号	今回集計分
12 症状の種類（問題状況）	VII 1	
13 痛みの有無・頻度	VII 2	
14 状態の安定性	VII 3	○
15 体重の変化	VIII 1	
D. 提供されている医療の内容		
集計項目	設問番号	今回集計分
16 医師による直接医療提供頻度	I 3	○
17 看護師による直接医療提供頻度	I 4	○
18 医師の指示変更の頻度	X II 4	
19 注射・点滴を受けた日数	X 1	
20 注射・点滴の種類	X 2	
21 処置・治療の内容	X II 1	○
22 検査の種類別実施状況	X II 5	
23 麻酔の種類別、手術の実施状況	X II 6	

E. 提供されている医療の内容 (つづき)		
集計項目	設問番号	今回集計分
24 向精神薬の種類別、使用日数	X II 2	
25 リハビリテーションの必要性	X I 1	○
26 リハビリテーションが必要な疾患が発症してからの日数	X I 1	
27 実施したリハビリテーションの種類	X I 2	○
28 看護師によるリハビリテーションの実施状況	X I 3	
29 身体抑制の状況	X II 3	
30 栄養摂取の方法	VIII 2	○
F. ADL、認知症の状況		
集計項目	設問番号	今回集計分
31 要介護度	I 5	○
32 厚生労働省「障害老人の日常生活自立度判定基準」	I 6	○
33 厚生労働省「痴呆性老人の日常生活自立度判定基準」	I 7	○
34 ADL 自立度	V 1	○
35 ADL の変化	V 2	
36 立ち上がり	V 3	
37 片足での立位保持	V 4	
G. 記憶・認知の状況		
集計項目	設問番号	今回集計分
38 意識障害の有無	II 1	
39 短期記憶の状況	II 2	
40 日常の意思決定を行うための認知能力	II 3	○
41 せん妄の兆候・混乱した思考・意識	II 4	
42 認知状態の変化	II 5	
H. コミュニケーションの状態		
集計項目	設問番号	今回集計分
43 自分を理解させることができる	III 1	
44 コミュニケーションの変化	III 2	
I. 気分と行動の状況		
集計項目	設問番号	今回集計分
45 うつ状態、不安、悲しみの気分の兆候	IV 1	
46 問題行動	IV 2	
47 問題行動の変化	IV 3	

J. 皮膚の状態		
集計項目	設問番号	今回集計分
48 褥瘡・潰瘍のステージ別数	IX 1	
49 褥瘡・潰瘍の種類	IX 2	
50 褥瘡・潰瘍以外の皮膚の問題	IX 3	
51 皮膚のケアの状況	IX 4	
52 足の問題とケアの状況	IX 5	
K. ケアニーズ		
集計項目	設問番号	今回集計分
53 ケアニーズの変化	X III 3	○
L. 診療報酬の状況		
集計項目	設問番号	今回集計分
54 診療報酬の算定（加算含む）状況	FS 8	
55 特定療養費該当状況（医療療養病棟に入院している在院日数 180 日超の患者）	FS 9	